

# 令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	217	学校名	仙台市立高砂中学校	校長名	猪股 一博
------	-----	-----	-----------	-----	-------

## 1 取組のタイトル、テーマ

震災からの復興。そして、未来をみつめて



## 2 取組の紹介

本校は東日本大震災において、市内で唯一津波の被害を受けた中学校です。本校では、震災からの復興において、地域の方々はもちろん、日本全国の方々からの支援を受けてきました。地域の方々に支えていただいた分、地域の方々に感謝の意を表してきた取組が今でも伝統として残っており、活動を続けています。

紹介するのは、植栽活動（夏・冬に年2回実施）と、町内会との連携した活動です。

### <植栽活動の様子>

震災からの復興期に、花壇に植える花を提供してくださった園芸関係の皆様との御縁で、今でも毎年、夏と冬に校舎前の花壇の植栽を行っています。毎回、部活動の生徒、保護者など100名以上が参加して活動しています。植栽のときには、肥料に「杜のめぐみ」を活用しています。



### <町内会との連携>

毎年7月に、校区内に18ある町内会の会長の方々と生徒との顔合わせ会を実施しています。また、普段の町内会ごとの地域活動には、その町内に住む生徒と地域担当教師が積極的に参加しています。普段から顔の見える関係を築いておくことによって、いざという時の防災活動がスムーズに進めることができると考えております。



## 3 取組の成果

冬に行う植栽活動では、次年度に花開く球根を植えます。このことは、これから入学してくる後輩のためという情操を養うことが期待できると考えています。また、地域ぐるみで行われる防災活動は、生徒たちの防災意識を育み、将来にわたり、防災の知恵と工夫が伝えられていく礎になるものと考えております。